

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年10月20日

上場会社名 東邦レマック株式会社  
 コード番号 7422 URL <http://www.toho-lamac.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 庄治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼管理本部長兼  
 総務部長 (氏名) 高野 裕一

TEL 03-3832-0132

四半期報告書提出予定日 平成29年10月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の業績(平成28年12月21日～平成29年9月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	8,071	△12.2	△111	—	△29	—	△26	—
28年12月期第3四半期	9,193	△7.1	△92	—	△0	—	122	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年12月期第3四半期	△5.20	—	—	—
28年12月期第3四半期	24.01	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	9,121	—	5,744	—	63.0	—
28年12月期	9,529	—	5,904	—	62.0	—

(参考)自己資本 29年12月期第3四半期 5,744百万円 28年12月期 5,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年12月期	—	6.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想(平成28年12月21日～平成29年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	13,200	2.1	70	△31.9	150	△43.1	100	△67.5	19.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期3Q	5,120,700 株	28年12月期	5,120,700 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

29年12月期3Q	25,999 株	28年12月期	25,250 株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	5,095,325 株	28年12月期3Q	5,095,450 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策・金融政策を背景に雇用情勢や所得環境は緩やかな改善が見られた一方、金融資本市場の変動の影響、並びに個人消費にも停滞感があるなど、景気の回復は足踏み状態が続いております。また地政学的リスクの高まりやアジアを中心とした新興国の経済動向、欧米の政策動向など、わが国の景気を下振れさせるリスクが多数存在しており、依然として先行き不透明な状況にあります。

靴流通業界におきましては、競合他社との価格競争、並びに業種・業態の垣根を越えた販売競争の激化、さらには消費者の低価格志向・節約志向が重なり、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で、当社は紳士靴が前年を上回る売上を確保しましたが、メインの取扱商品であります婦人靴が苦戦を強いられ、売上高は前年同四半期を下回りました。売上総利益につきましては売上不足の影響もあり、前年同四半期を下回りました。また営業損益につきましては継続して行っている販売費及び一般管理費の削減が実行できたものの、前年同四半期を下回りました。

経常損益につきましては、営業外収益が減少した影響から前年同四半期を下回り、四半期純損益につきましても昨年のような法人税等調整額の計上がなく、売上等の減少の影響を受け、前年同四半期を下回りました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高80億71百万円（前年同四半期比12.2%減）、売上総利益18億37百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業損失1億11百万円（前年同四半期は営業損失92百万円）、経常損失29百万円（前年同四半期は経常損失0百万円）となり、四半期純損失は26百万円（前年同四半期は四半期純利益1億22百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

流動資産は、前事業年度末に比べ4億96百万円減少し、54億4百万円となりました。これは、主に電子記録債権が99百万円、商品が4億8百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が3億13百万円、受取手形及び売掛金が7億16百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ89百万円増加し、37億16百万円となりました。これは、主に無形固定資産が8百万円減少した一方で、投資その他の資産の投資有価証券が1億35百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ4億7百万円減少し、91億21百万円となりました。

##### （負債）

流動負債は、前事業年度末に比べ2億44百万円減少し、29億30百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が2億52百万円増加した一方で、短期借入金が3億50百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2百万円減少し、4億46百万円となりました。これは、主に退職給付引当金が8百万円増加した一方で、役員退職慰労引当金が7百万円、資産除去債務が2百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ2億47百万円減少し、33億77百万円となりました。

##### （純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べ1億59百万円減少し、57億44百万円となりました。これは、主に利益剰余金が87百万円、繰延ヘッジ損益が70百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年度12月期の業績につきましては、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響など、様々な下振れ懸念はありますが、変更はございません。

なお、今後の業績推移に応じて、修正の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月20日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	661,067	347,068
受取手形及び売掛金	2,498,175	1,781,454
電子記録債権	1,286,313	1,385,969
商品	1,247,180	1,655,437
その他	217,576	242,007
貸倒引当金	△8,576	△7,175
流動資産合計	5,901,736	5,404,762
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	265,306	287,624
土地	738,136	738,136
その他（純額）	29,352	22,393
有形固定資産合計	1,032,794	1,048,154
無形固定資産		
	66,813	57,887
投資その他の資産		
投資有価証券	1,345,050	1,480,747
関係会社株式	8,368	8,368
投資不動産（純額）	691,831	678,121
その他	487,689	448,365
貸倒引当金	△5,030	△4,937
投資その他の資産合計	2,527,909	2,610,664
固定資産合計	3,627,517	3,716,706
資産合計	9,529,253	9,121,469
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	941,939	1,194,541
短期借入金	1,500,000	1,150,000
未払法人税等	46,092	9,320
賞与引当金	39,027	66,538
その他	648,475	510,279
流動負債合計	3,175,534	2,930,679
固定負債		
退職給付引当金	254,591	263,238
役員退職慰労引当金	80,314	73,238
資産除去債務	2,190	-
その他	112,334	109,997
固定負債合計	449,430	446,474
負債合計	3,624,964	3,377,153

（単位：千円）

	前事業年度 （平成28年12月20日）	当第3四半期会計期間 （平成29年9月20日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,720	961,720
資本剰余金	838,440	838,440
利益剰余金	3,807,772	3,720,154
自己株式	△13,645	△14,004
株主資本合計	5,594,287	5,506,310
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	230,667	229,551
繰延ヘッジ損益	79,334	8,453
評価・換算差額等合計	310,002	238,004
純資産合計	5,904,289	5,744,315
負債純資産合計	9,529,253	9,121,469

## （2）四半期損益計算書

第3四半期累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成27年12月21日 至平成28年9月20日）	当第3四半期累計期間 （自平成28年12月21日 至平成29年9月20日）
売上高	9,193,633	8,071,385
売上原価	7,277,988	6,234,124
売上総利益	1,915,644	1,837,261
販売費及び一般管理費	2,008,060	1,948,543
営業損失（△）	△92,415	△111,282
営業外収益		
受取利息	19,670	20,811
受取配当金	10,044	11,122
仕入割引	327	-
受取賃貸料	61,279	61,272
保険解約返戻金	51,473	9,228
その他	7,038	7,024
営業外収益合計	149,833	109,459
営業外費用		
支払利息	4,995	2,228
手形売却損	879	877
賃貸費用	22,419	21,719
為替差損	25,216	1,235
その他	4,214	1,898
営業外費用合計	57,726	27,959
経常損失（△）	△307	△29,782
特別利益		
固定資産売却益	716	-
投資有価証券売却益	275	792
特別利益合計	992	792
特別損失		
固定資産除却損	5,393	205
固定資産売却損	5	-
投資有価証券売却損	-	49
特別損失合計	5,399	255
税引前四半期純損失（△）	△4,714	△29,245
法人税、住民税及び事業税	16,677	18,417
法人税等調整額	△143,709	△21,190
法人税等合計	△127,031	△2,772
四半期純利益又は四半期純損失（△）	122,316	△26,472

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。